

テーマ

「美」を通して現代人の社会意識を探る

適用分野

人間関係の分析、社会意識の調査

研究名称

美や芸術をめぐる言説と社会意識との関係の探究

氏名所属

西 欣也 教授
文学部 人間科学科

内容

●特徴

美学というのは厳密には哲学の一分野で、人間にとって感性的な経験がもっている意味を探る学問です。美意識を通して現代の社会意識との関係を探求しています。

●研究内容

美の世界は社会や政治とは切り離されたものと思われがちですが、私の研究では「美」や「芸術」が話題となるとき、それが現実全体のイメージや価値の体系と秘かな関係にあることを念頭において考察をしています。たとえば、地域の伝統文化とヨーロッパ文化（近代的なもの）のあいだで一定の価値の序列が決定され、そのなかで社会と自己をめぐる意識が形成されてゆく場合に、「美」や「芸術」の観念が非常に深く関与している事実が、ヨーロッパや日本はもちろん、韓国やインドなど様々なケースからわかってきました。その構造を解明することは、まずは批判的に世界の動きを捉えるための有益なヒントを与えてくれます。最近では、「日本古来の文

化が軽視されるから日本の美感を見つめ直して行く必要がある」といった考え方が復活しつつありますが、そのような一見ソフトな国家主義がなぜ繰り返し流行してしまうのでしょうか。そのような考え方の起源はどこにあるのでしょうか。こういったことを思考の法則として明らかにすることは、日本ではほとんど取り組まれていないやりがいのある課題です。そのような思考法則の理解は、現代における芸術・文化と人間の関わりを理解することはもとより、ひいては人間とは何かということの解明につながっていくはずです。

キーワード

美学、芸術学、社会意識、思想史

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究